

第10次調査
図 版



1. 墳丘 調査前 (南東から)



2. 拡張区 調査前 (南から)

図版 2

第1トレンチ全景(1)



全景 (南から)



1. 全景 (南から)



2. 拡張区 北壁 (南から)

図版 4

拡張区壁面
(2)



1. 拡張区 北壁・東壁 (南西から)



2. 拡張区 北壁・西壁 (南東から)



1. 拡張区 南壁・東壁 (北西から)



2. 拡張区 南壁・西壁 (北東から)

図版 6

拡張区壁面 (4)



1. 拡張区 東壁 (西から)



2. 拡張区 西壁 (東から)



1. F9グリッド 馬具出土状況 (南東から)



2. F9グリッド 馬具出土状況 (東から)

図版 8

第1トレンチ
須恵器出土状況(1)



1. F 9グリッド 須恵器片出土状況(南東から)



2. F 10グリッド 須恵器片出土状況(南から)



1. F 9・F 10グリッド 須恵器片出土状況(東から)



2. F 10グリッド 須恵器片出土状況(東から)

図版 10

第1トレンチ
須恵器出土状況(3)



1. F 10 グリッド 須恵器片出土状況(東から)



2. F 9 グリッド 須恵器片出土状況(東から)



3. C 11 グリッド 須恵器片出土状況(北から)



4. F 9 グリッド 須恵器片出土状況(南東から)



5. F 11 グリッド 須恵器片出土状況(東から)



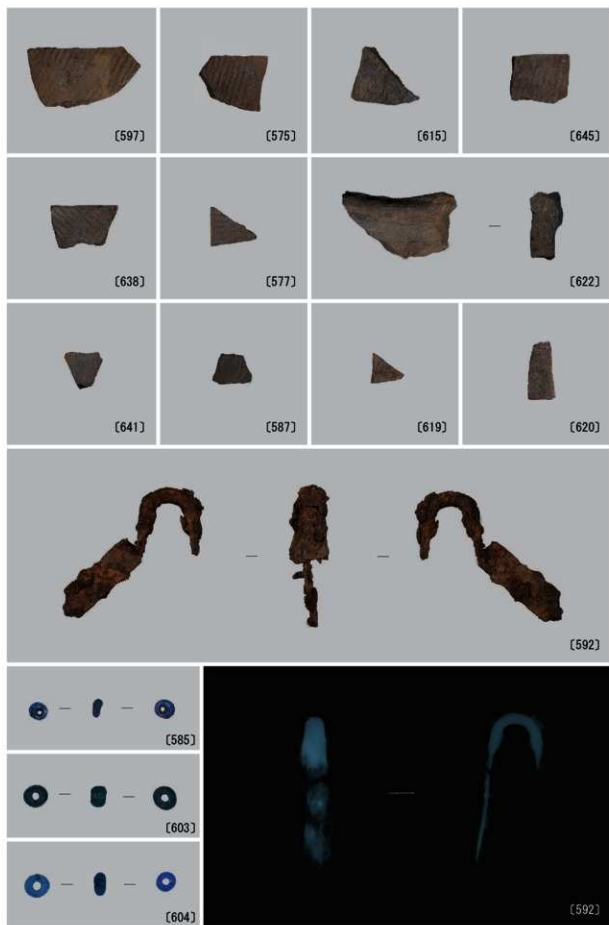
子持壺片 (647)・脚部=1:2 子持壺片 (633)・壺・甕片=1:1

図版 12

遺物
須恵器(2)



[573 ほか]=1:4 壺片=1:2



須恵器片・馬具 = 1 : 2、ガラス小玉 = 2 : 1

第11次調査
図 版



1. 墳丘 調査前（南から）



2. 墳丘 調査後（南から）

図版 2

第一トレンチ



1. 南壁（北から）



2. 南側拡張区 全景（北西から）



1. 北壁 (南から)



2. 拡張区 石室背面の石積み (西から)

図版 4

第Ⅲトレンチ(2)



過年度調査時復原(東から)



全景 (東から)

図版 6

第Ⅲトレンチ
(4)



1. 拡張区 石室背面の石積み（東から）



2. 拡張区 北側断ち割り（東から）



1. A2・M2グリッド北壁 (南から)



2. N2・O2グリッド北壁 (南から)

図版 8

第三トレンチ
(6)



1. P2・Q2グリッド北壁 (南から)



2. R2・S2グリッド北壁 (南から)



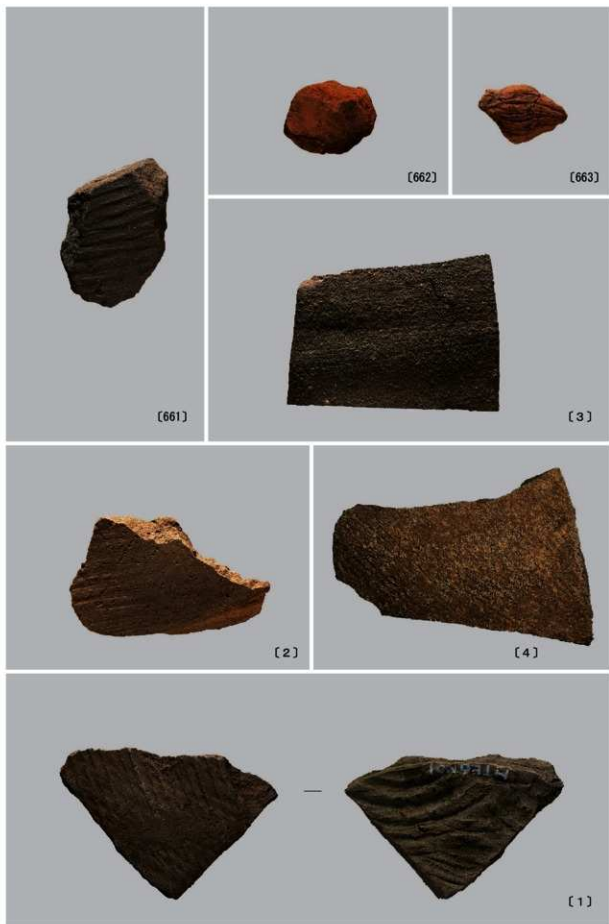
1. 全景（南東から）



2. 全景（北から）

図版 10

遺物
土師器片・土製品・瓦・須恵器片



土師器片・土製品・瓦・須恵器片 = 1 : 1



1. 第10次調査



2. 第11次調査

報告書抄録

ふりがな	ながのけんあづみのし ほたかこふんぐん 2018・2019ねんど えふ9ごうふんはつかつちょうさほうこくしょ							
書名	長野県安曇野市 穂高古墳群 2018・2019年度 F9号墳発掘調査報告書							
シリーズ名	國學院大學文学部考古学実習報告							
シリーズ番号	第57集							
編者名	(編集) 青木敬 大日方一郎 (著者) 青木敬 荒堀麻希 池田貴史 大嶋拓真 大塚惟子 岡一誠 押本雅生 小田山来未 小野梨奈 大日方一郎 方波見穂美 上地里奈 河原薫 神澤郁美 日下部旭祐 栗山雄河 小池茜 古口翔太 齋藤優太 関口拓海 田中優帆 種神春香 張ハヌル 豊田倫史 能沢悠都 萩原亮太 馬場由佳 妻木竹那 平井智規 松下佐保子 松本空也 水谷凌 望月悠太 渡辺夏海 石澤菜衣子 和泉智子 尾上周平 紀静輝 北澤宏明 黒澤ひかり 小林文昭 岡根美季 高橋桃子 中島志保 原武卓也 樋口典昭 平塚裕美 深澤太郎 深田将弘 藤原正大 前田奈都美 前田萌登 武藤駿平 森田耕平 依田健太							
編集機関	國學院大學文学部考古学研究室							
所在地	〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 TEL03(5466)0248							
発行年月日	令和3年2月28日							
遺跡名	所在地	市町村番号	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
穂高古墳群 F9号墳	長野県安曇野市 穂高 柏原3653	20220	2F9 (穂高古墳78)	36° 18' 56"	137° 50' 40"	20180807 ～ 20180816 20190806 ～ 20190815	2018年度 35.5㎡ 2019年度 34㎡	学術調査
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構・遺物			特記事項		
穂高古墳群 F9号墳	古墳	古墳後期 近世 近代	直径11.0m、高さ1.3mの円墳。 無軸の横穴式石室。 土師器・須恵器・武器・装身具などが出土。			鳥川右岸の扇状地上に位置するF群の中でも最も上位に立地し、二つ塚と通称される2基の古墳のうちの1基。		
要約								
本書は、平成21年（2009）から國學院大學考古学調査法（考古学実習）の一環として実施している穂高古墳群F9号墳の第10次・第11次調査報告書である。第10次調査は、石室床面の精査、周溝の有無、墳丘規模の確認、石室と墳丘の取り付き方の解明を目的として第Iトレンチおよび拡張区の掘削を進めた。また、第11次調査は、墳裾部の再検討すること、周溝の有無を確認すること、石室側壁の背面構造を把握することを目的として第Iトレンチおよび第IIIトレンチを掘削した。								

文化財保護・教育普及・学術研究を目的とする場合は、著作権（発行）者の承諾なく、この報告書を複製して利用できます。なお、利用にあたっては出典を明記してください。なお、PDF版を全国遺跡報告総覧で公開しています。

國學院大學文学部考古学実習報告 第57集

長野県安曇野市

穂高古墳群

2018・2019年度 F 9号墳発掘調査報告書

2021年2月28日 発行

編集 青木 敬・大日方 一郎

発行 國學院大學考古学研究室

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

電話 03(5466)0248

印刷 能登印刷株式会社

Archaeological Research
on
the HOTAKA F9 TUMULUS



February, 2021

もっと日本を。もっと世界へ。

 | 國學院大學

Department of Archaeology,

Kokugakuin University